

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901014

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 担い手(人・組織)の強化	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	利子補給補助事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	補助対象件数		#N/A	
事業目標	最大38件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	1 ⇒	雄武町農業経営基盤強化資金利子助成金交付要領
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	農業経営改善計画達成のために借入れる資金に係る利子補給補助を実施することにより、酪農経営の安定化を図ることができ、地域の担い手(認定農業者)の育成・強化が図られる。	農業経営基盤強化資金 補給額 4,203,346円 町費 2,101,693円 道費 2,101,653円	農業経営基盤強化資金 補給額 4,195,226円 町費 2,097,633円 道費 2,097,593円	農業経営基盤強化資金 補給額 4,198,119円 町費 2,099,075円 道費 2,099,044円	農業経営基盤強化資金 補給額 3,780,826円 町費 1,890,431円 道費 1,890,395円	農業経営基盤強化資金 補給額 4,759,575円 町費 2,379,808円 道費 2,379,767円	
		大家畜経営活性化資金 補給額 168,712円 町費 61,455円 道費 107,257円	大家畜経営活性化資金 補給額 147,009円 町費 53,553円 道費 93,456円	大家畜経営活性化資金 補給額 125,771円 町費 45,820円 道費 79,951円	大家畜経営活性化資金 補給額 66,790円 町費 24,344円 道費 42,466円	大家畜経営活性化資金 補給額 52,902円 町費 19,286円 道費 33,616円	
		計 補給額 4,372,058円 町費 2,163,148円 道費 2,208,910円	計 補給額 4,342,235円 町費 2,151,186円 道費 2,191,049円	計 補給額 4,323,890円 町費 2,144,895円 道費 2,178,995円	計 補給額 3,847,616円 町費 1,914,775円 道費 1,932,861円	計 補給額 4,812,477円 町費 2,399,094円 道費 2,413,383円	
		事業費(千円) 21,701	4,373	4,343	4,324	3,848	4,813
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	10,922	2,208	2,191	2,178	1,932	
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,779	2,165	2,152	2,146	1,916	2,400	
実績事業費	事業費(千円)	19,772	4,073	3,946	3,855	3,774	4,124
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	9,948	2,059	1,990	1,939	1,894	2,066
	地方債	0					
その他	8					8	
一般財源	9,816	2,014	1,956	1,916	1,880	2,050	
関連事項	(特定財源の詳細等)						
	○農業経営基盤強化資金利子補給補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 農業経営基盤強化資金及び大家畜経営活性化資金の利子補給39件	(実施内容等) 農業経営基盤強化資金及び大家畜経営活性化資金の利子補給37件	(実施内容等) 農業経営基盤強化資金及び大家畜経営活性化資金の利子補給43件	(実施内容等) 農業経営基盤強化資金及び大家畜経営活性化資金の利子補給43件	(実施内容等) 農業経営基盤強化資金、大家畜経営活性化資金及び営農施設豪雪災害緊急対策特別資金の利子補給43件
	○大家畜経営活性化資金利子補給補助金		※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連(継続無し)	年度目標値	38件	38件	38件	37件	36件
	年度達成率	93%	91%	89%	98%	86%	
全体達成率	19%	37%	55%	72%	91%		
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	利子補給補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農務係主査	宇野敏志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	資金借入農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利子補給額、件数								
【抱える課題やニーズは】	借入資金利子の高負担による経営の圧迫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	償還負担軽減による経営の安定化	① 利子補給額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4,124千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4,124千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4,124千円	実績値	4,124千円	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	4,124千円										
実績値	4,124千円										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	経営の安定化による一定水準の農業所得の確保	② 利子補給件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>36件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>43</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>119.4%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	36件	実績値	43	達成度	119.4%
目標年度	平成24年度										
目標値	36件										
実績値	43										
達成度	119.4%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	借入資金に対する利子補給	農業経営基盤強化資金、大家畜経営活性化資金、営農施設豪雪災害緊急対策特別資金を借入している農家に対する利子補給(北海道と町で助成)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	国及び北海道の制度に基づく事業であり、今後の酪農経営の安定化を図るために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	借入資金の利子を補助することにより、酪農家の負担軽減が図られ、安定した酪農経営が図られる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業費については、道と町の負担割合が定められていること、また、事業執行においても必要最低限の人員で行っており、コスト削減等の余地はない。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	対象資金に対する利子補給であり、資金の借り入れにあたっては、その用途が厳密に定められており、事業の公平性が保たれている。 ※ 農業経営基盤強化資金のみ一部受益者負担なし(19~21)
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
酪農の現状は、飼料価格等の高騰により厳しい状況におかれているが、本事業の実施により経営安定化の一翼となる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
TPP参加交渉等今後も好転を見込むことが難しいことから、本町の基幹産業の一つである酪農を守るため、本事業を継続することが必要である。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止